

レッツ原価管理

Go2

SQL Server 2019 設定マニュアル

LET'S

目次

1 SQL Server 2019のインストール	2
1 SQL Server 2019 のインストール	2

- 本書では、別途ご準備いただいたSQL Server をレッツ原価管理Go2で利用する方法についてのみ解説しております。
機能および基本的な操作方法、インストール方法につきましては、「レッツ原価管理Go2操作マニュアル」および「インストールマニュアル」でご確認ください。
- 本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがあります。
- Windows は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

1 SQL Server 2019のインストール

既にSQL Server 2019の上位エディションをご購入している場合、レッツ原価管理Go2のサーバーのデータベースとしてご利用いただくことが可能です。

【インストール前の確認事項】

- ・お手持ちのSQL Server のインストールCD(DVD)-ROM、又はインストーラーを準備してください。
- ・インストールするSQL Serverに必要なコンポーネントがインストール済みを確認してください。
- ・他のプログラムを終了させてください。
- ・管理者権限のあるユーザーでログインしてください。

1.SQL Server 2019のインストール

- 1 お手持ちのSQL Server 2019のDVD-ROMをサーバーのドライブにセットします。
(スタンドアロンの方はレッツ原価管理Go2をインストールするコンピューターのドライブ)

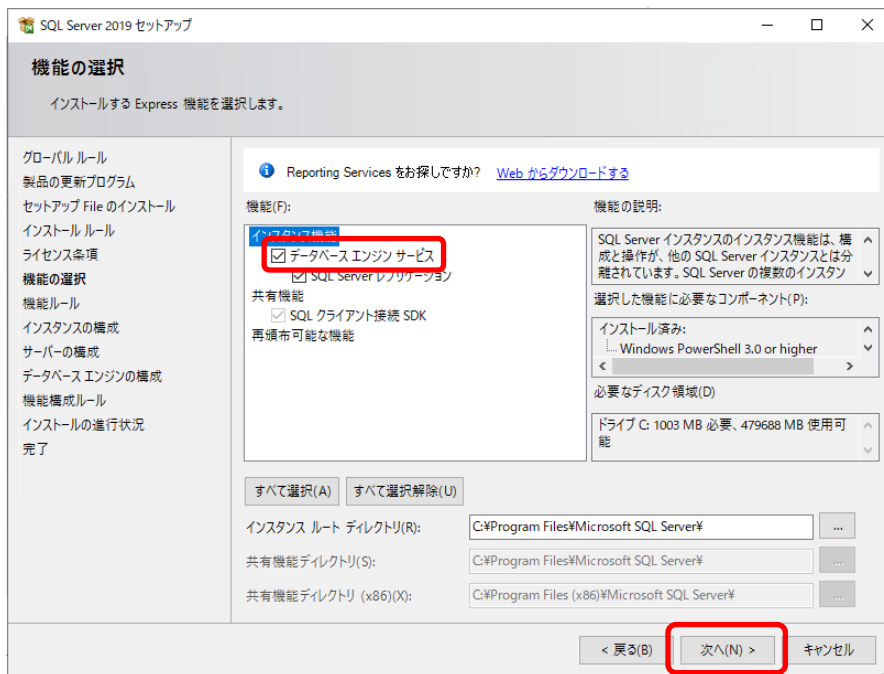
[インストールセンター]が表示されない場合は、[エクスプローラー]を開いてDVD-ROMドライブをダブルクリックし、[setup.exe]をダブルクリックしてください。

- 2 画面左側の[インストール]をクリックした後、画面右側の[SQL Server の新規スタンドアロン インストールを実行するか、既存のインストールに機能を追加します]をクリックします。



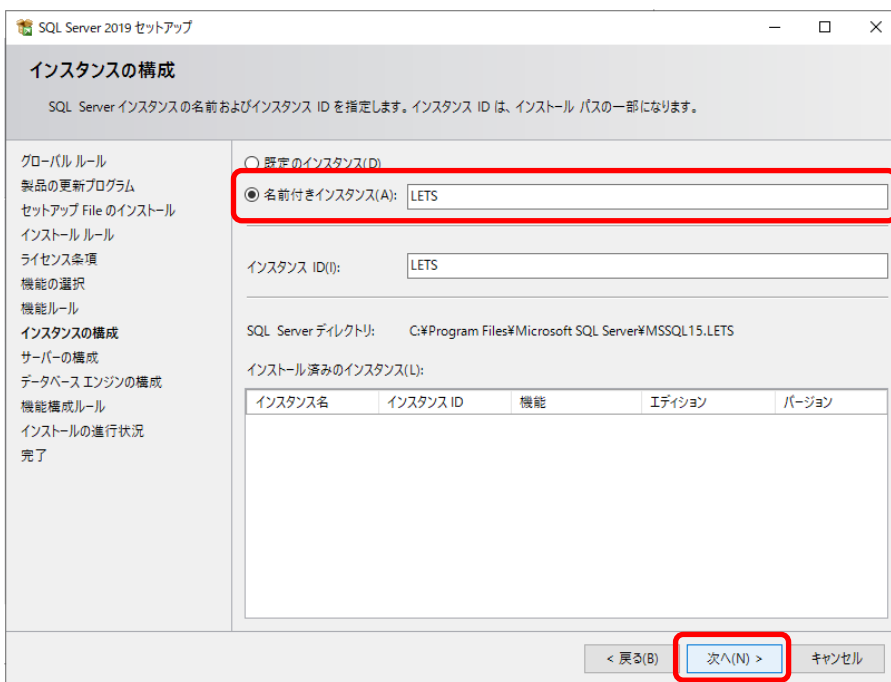
- 3 プロダクトキーを入力し、[次へ]ボタンをクリックします。
[ライセンス条項]画面が表示されます。
- 4 ライセンス条項に同意する場合は、[ライセンス条項に同意します]にチェックを付け、[次へ]ボタンをクリックします。[グローバルルール]画面、[セットアップファイルのインストール]画面、[インストールルール]画面が表示され、自動的に進みます。

- 5 [データベースエンジンサービス]にチェックを付け、[次へ]ボタンをクリックします。
この画面ではオプション機能をインストールできます。インストールオプションについてはネットワーク管理者に相談してください。



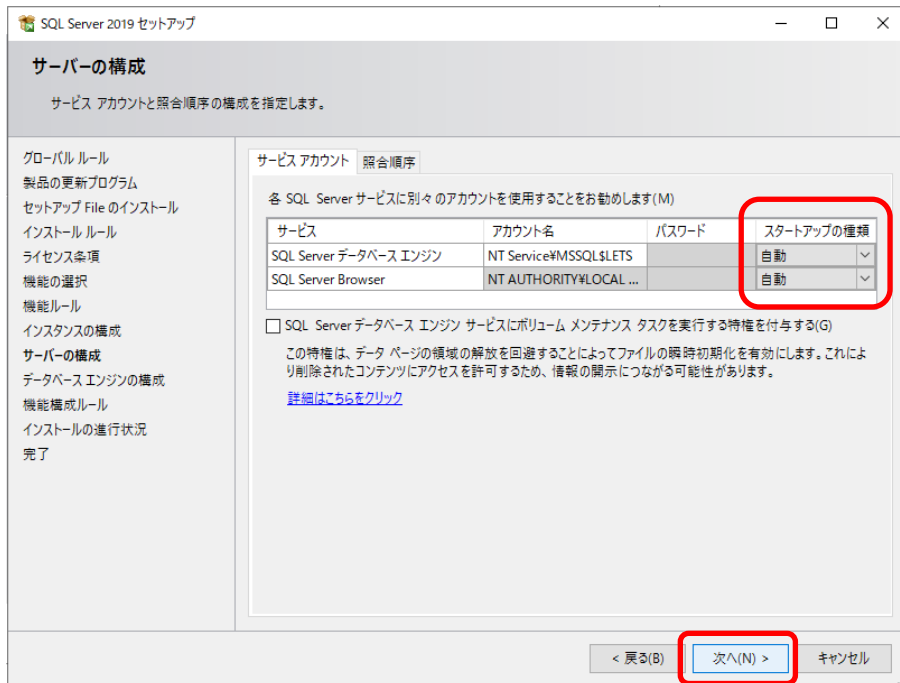
- 6 [名前付きインスタンス]を選択した後、半角大文字で[LETS]と入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

※[LETS]以外のインスタンス名の指定も可能です。その場合入力したインスタンス名を忘れないようにメモしてください。

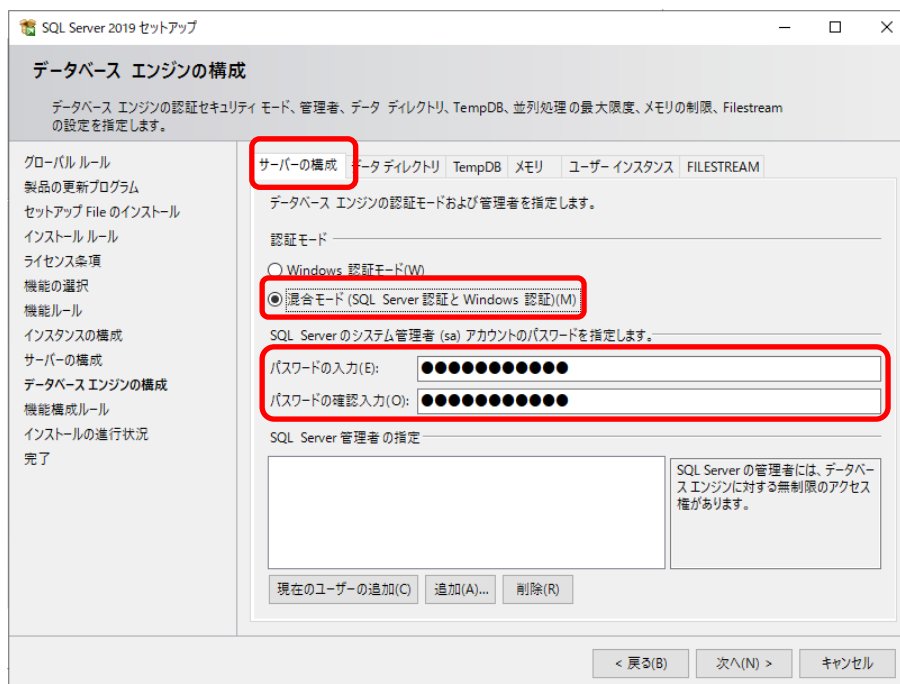


- 7 [サーバーの構成]画面が表示されたら、「SQL Server データベースエンジン」と「SQL Server Browser」のスタートアップの種類が「自動」になっていることを確認し[次へ]をクリックします。

[データベースエンジンの構成]画面が表示されます。



- 8 [サーバーの構成]タブで[混合モード]を選択します。
レッツ原価管理Go2は[混合モード]で動作します。



- 9 混合モードで動作させる際、[SQL Server システム管理者(sa)アカウント]のパスワードを下記の通り入力し、確認用のパスワードを再度入力します。

パスワード:「letsadmin-5」(※既定のパスワード)

【注意】

「letsadmin-5」以外のsaパスワードも指定可能です。任意のsaパスワードを指定した場合は、レッツ原価管理Go2のサーバー選択画面>詳細設定画面でsaパスワードを設定する必要がありますので、saパスワードを必ずメモしてください。

- 10 [現在のユーザーの追加]ボタンをクリックして、SQL Server の管理者を追加し、[次へ]ボタンをクリックします。

SQL Server 2019 セットアップ

データベース エンジンの構成

データベース エンジンの認証セキュリティ モード、管理者、データ ディレクトリ、TempDB、並列処理の最大限度、メモリの制限、Filestream の設定を指定します。

グローバル ルール
製品の更新プログラム
セットアップ File のインストール
インストール ルール
ライセンス 条項
機能の選択
機能 ルール
インスタンスの構成
サーバーの構成
データベース エンジンの構成
機能構成 ルール
インストールの進行状況
完了

サーバーの構成 データ ディレクトリ TempDB メモリ ユーザー インスタンス FILESTREAM

データベース エンジンの認証モードおよび管理者を指定します。

認証モード

Windows 認証モード(W)

混合モード (SQL Server 認証と Windows 認証)(M)

SQL Server のシステム管理者 (sa) アカウントのパスワードを指定します。

パスワードの入力(E): ●●●●●●●●●●

パスワードの確認入力(O): ●●●●●●●●●●

SQL Server 管理者の指定

現在のユーザーの追加(C) 追加(A)... 削除(R)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

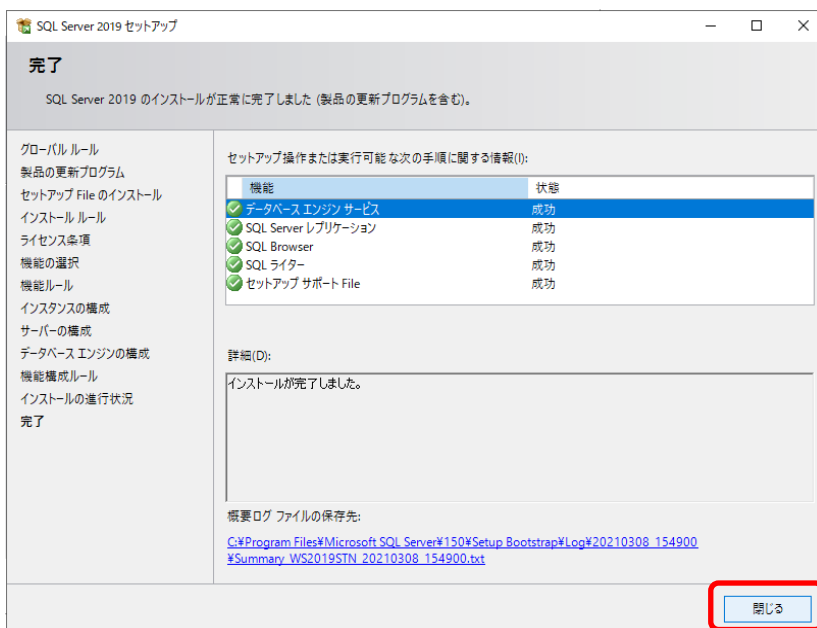
SQL Server 管理者の指定

WS2019STN\Administrator (Administrator)

現在のユーザーの追加(C) 追加(A)... 削除(R)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- 11 インストールが開始され、完了すると[インストールが完了しました]というメッセージが表示されます。
[閉じる]ボタンをクリックします。



- 12 [SQL Server 2019セットアップ]画面が閉じます。

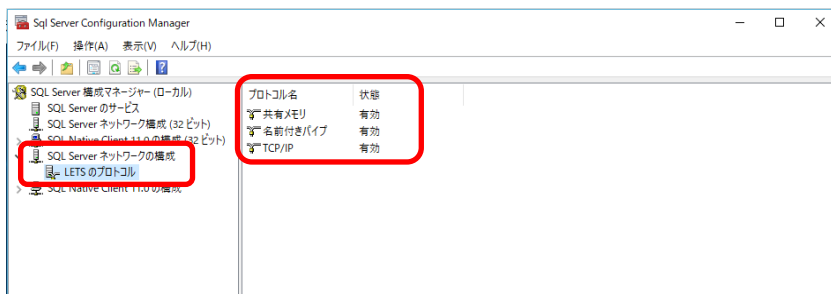
[インストールセンター]の画面右上の閉じるボタンをクリックしてSQL Server 2019のインストールは完了です。

- 13 データベースのインストールが終了したら、LETSインスタンス(任意の名前に変更した場合はそのインスタンス名)の構成を確認します。

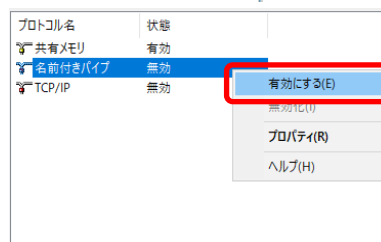
[スタートメニュー] - [すべてのプログラム] - [Microsoft SQL Server 2019] - [SQL Server 2019 構成マネージャー]を開きます。

※Windows 11の場合、[すべてのプログラム]は[すべてのアプリ]と表示されます。

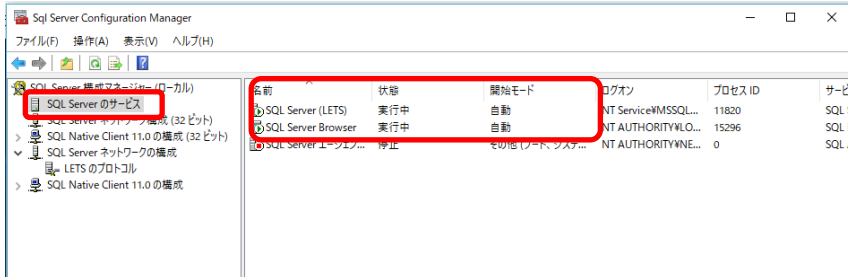
[SQL Server ネットワークの構成] - LETSのプロトコルをクリックし、右画面に表示されている[共有メモリ][名前付きパイプ][TCP/IP]が[有効]になっていることを確認します。



無効になっている場合は、無効になっているプロトコルを右クリック>「有効にする」をクリックして、プロトコルを有効化します。
有効後は、SQLServerのサービスよりLETSインスタンスを再起動させてください。



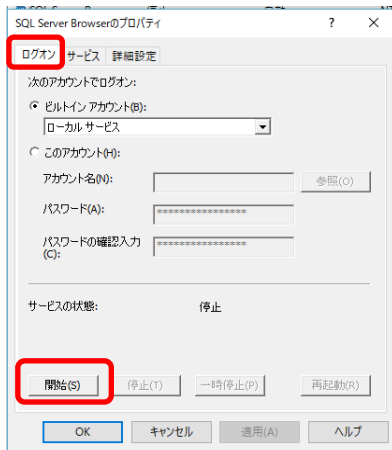
- 14 ネットワークの構成を確認後、画面左[SQL Server のサービス]を選択し、画面右の [SQL Server Browser]と[SQL Server(LETS)]が開始モード[自動]、状態[実行中]になっていることを確認します。



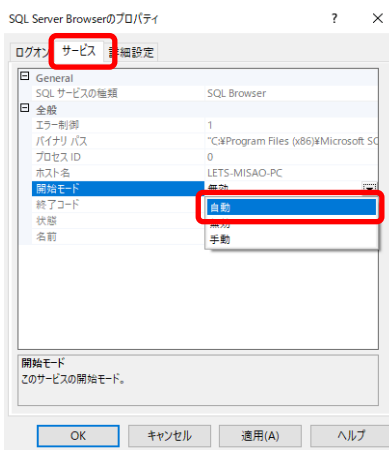
※SQLServerエージェントは[停止]で問題ありません。

開始モード[自動]、状態が[実行中]になっていない場合は、対象のプログラムを右クリック > プロパティを開き設定します。

状態を[開始]にする場合



開始モードを[自動]にする場合



M e m o

LET'S